

家庭学習の手引き

—すすんで学ぶ子どもを育てるために—

情報化・国際化など社会環境が大きく変わっていく中、国際的な学力調査などから我が国の子どもの学力低下が課題とされるようになりました。子どもの教育は、家庭、学校、そして地域が連携し合うことが大切です。基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。本校では、学校と家庭が連携することで学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考え、家庭・地域と連携し学力向上を推進することを重点目標としています。

全国学力・学習状況調査では、家庭での学習時間や生活習慣の違いが正答率の違いにはっきりと表れ、家庭での学習の積み上げが大切であるということが明らかになっています。また、子どもたちの家庭での学習習慣が十分には身につけていない一方で、「テレビの視聴時間」や「ゲームで遊ぶ時間」は学年が上がるにつれ増加し、これが「授業の理解度」に大きく影響を与えていることもわかりました。

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となる大切なものです。子どもたちがすすんで学ぶようになるには「早寝・早起き・朝ごはん」「家庭学習」「あいさつ」などの基本的な生活習慣の確立としつけが大切であり、家庭でのアドバイスや協力等が重要になってくると考えています。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは、家族との温かい関わりや体験をとおして多くのことを学び、たくましく成長します。学校と家庭が協力し、子どもたちに「すすんで学ぶ力」と「健康な心身」を育てなければならないと考えます。

ご家庭の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、お子様の家庭学習がさらに充実し、自らすすんで学習できるようご指導ください。

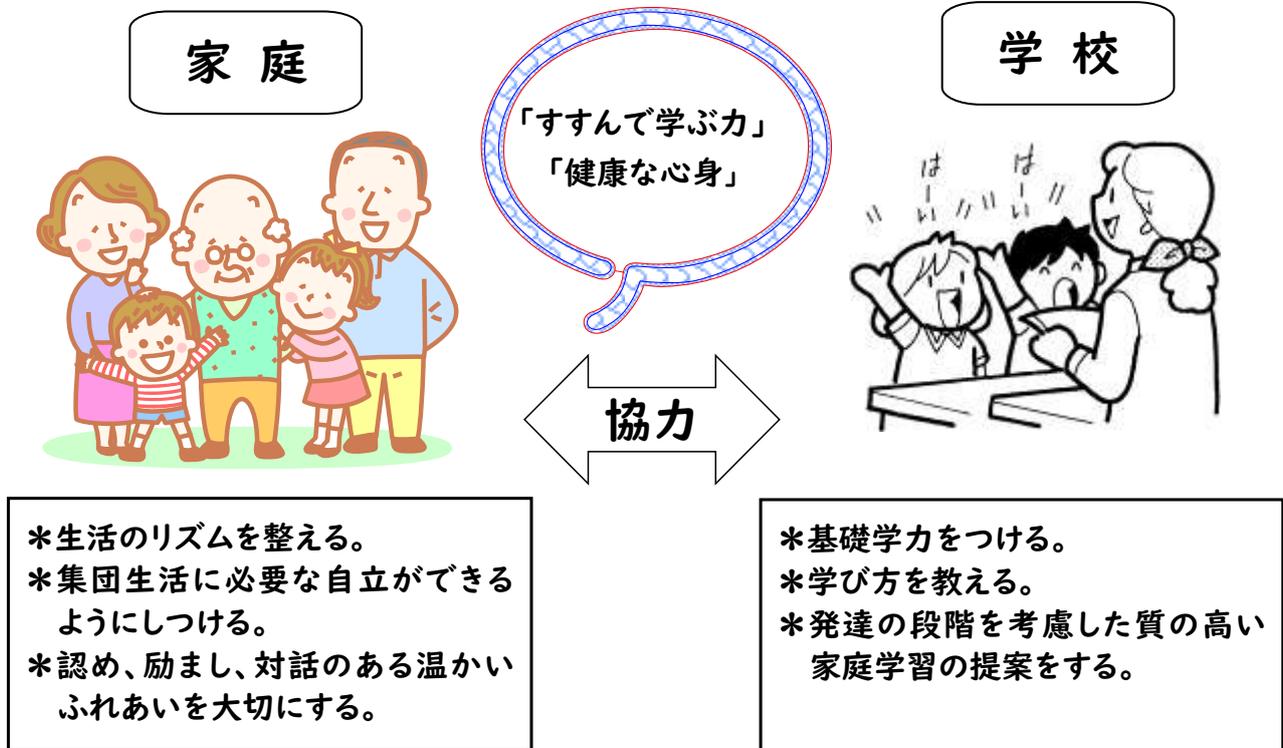
お願い

この冊子は、学期末などに親子で読み直したり、チェックしたりして、年間をとおして活用くださるよう、よろしく申し上げます。(卒業時まで保管)

野洲市立篠原小学校

「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方によってその育ち方は大きく変わります。

家庭と学校とが協力し合って子どもの「学ぶ力」を育てましょう。



この手引きは

- ◇家庭学習の習慣化をめざして、各家庭の事情に合わせた内容や方法を決めていただくための参考となるように作成しました。
- ◇学年ごとに家庭学習のポイントとなる事柄や内容の具体例を載せています。
- ◇学習上のきまりや約束をつくるために役立つアドバイスやヒントを集めています。

すすんで学ぶ子どもを育てるために必要な基本的な生活習慣

- ポイント1… 朝食をしっかりとり、一日のよいスタートを!
- ポイント2… 適切な睡眠をとる習慣を!睡眠は明日への活力源!
- ポイント3… 生活リズムに家庭学習の時間を位置づける!
- ポイント4… テレビやゲーム、パソコン、携帯電話の使用はルールを決めて!

家庭学習

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるために、とても大切なものです。小学校の時期に家庭学習の習慣を身につけることは、その後の学習にも生かされていきます。

家庭学習への取り組み方

毎日、続けることが大切です。

習い事や家庭の都合で予定通りできないことがあるかと思いますが、できるだけ時間を決めて取り組むことが習慣化につながります。

【家庭学習時間のめやす】

各学年の発達段階を考えると、以下の時間が適当であると考えます。

◇低学年=30分 ◇中学年=45分 ◇高学年=60分

【家庭学習を行う環境】

落ち着いた環境で、集中して取り組むことが大切です。テレビを見ながら、音楽を聴きながらでは、効果的な学習にはなりません。

継続は力なり

「継続は力なり」という言葉があります。小さなことでもコツコツ積み上げることは大きな力につながります。一つの目標が達成できたら、認めたり、家族で喜んだりすることが大きな励みとなり、続けようという“やる気”につながっていきます。

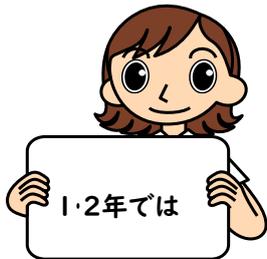




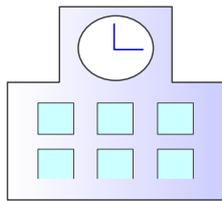
1・2年生



基本的な生活習慣と学習習慣を身につけよう



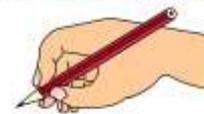
- 「早寝・早起き・朝ごはん」「朝の排便」「元気なあいさつ」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。
- 「やったね」「よくできたね」というまわりの「ほめ言葉」が、すばらしい意欲を生み出します。
- 学習内容や方法は、子どもの意欲が高まるように、親子で相談しながら決めましょう。



学校で

- ◆「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まり、先生の話をしっかり聞いて学習します。
- ◆生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- ◆繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- ◆「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「整理整頓をする」も基本となる学習です。

親指・人差し指・中指の三点支持



家庭学習のポイント

Point1 生活リズムの中に学習の時間を！～家族もいっしょに根くらべ～

それぞれの家庭に合った生活リズムをつくりましょう。学習する時はテレビなどを消しましょう。家族ぐるみでよりよい学習の場づくりに努めることが大切です。学習が終わったら、必ず家族の目で確かめ、認めてあげましょう。

Point2 子どもにも家事を！～高学年・中学生になっても～

家庭で、子どもにもできる仕事を見つけましょう。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。こうした家事の分担は、学年が上がっても続けていきましょう。

Point3 子どもといっしょに！～親子のふれあいを～

学校からの連絡やお便り、明日の学習準備などを子どもといっしょに確かめることが大切です。また、買い物や運動、読書などをいっしょにしながら、子どもとのふれあいを増やしましょう。



- まずは、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からの連絡やお便りなどの確認を。
- 学習は、正しい姿勢で。鉛筆は、正しく持ちましょう。

※時々、チェック欄に鉛筆でチェックをしながら、できているかを確認しましょう。

□:子ども用 ◇:保護者用

宿題



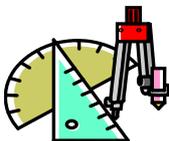
- はじめに、宿題からやりましょう。
- ◇鉛筆が正しく持てるように声かけをお願いします。
- ◇全部できるようになれば大丈夫!
- 宿題をやり終える子どもにしてください。
- ◇家族のアドバイスが必要です。認め励まし、その上でアドバイスを!

国語科



- 楽しみながら、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきり読めるようにしましょう。
- ひらがなや漢字の書き順に気をつけ、丁寧にゆっくり書きましょう。
- ◇子どもにあった本をまわりにおきましょう。
- 読み聞かせをするのもいいです。

算数科



- 楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しくできるようになったら、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- 正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を説明しながら練習しましょう。
- まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。

その他



- 進んで読書をしましょう。
- 楽しかったことやうれしかったことを自分の言葉で絵日記や日記に書きましょう。
- 鍵盤ハーモニカの練習をしましょう。
- 鉄棒やなわとびの練習をしましょう。
- ◇物づくりや自然体験活動など、家族でふれ合う時間をもうけてください。

ワンポイントアドバイス

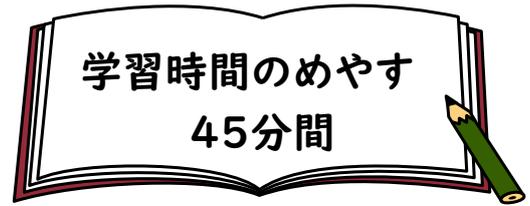
- ◇子どもは、親のうしろ姿を見て育ちます。大人がお手本になるような姿を見せることが大事です。
- ◇子どもに合った仕事を決め、継続してできるよう応援してください。
- ◇認めることは大切な教育です。

わが家では

Blank space for writing about the family's situation.



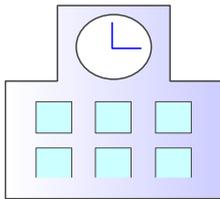
3・4年生



自主的な学習習慣を身につけよう



- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がります。
- みんなで行動することを好むとともに、少しずつ自己主張が見られるようになります。



学校で

- ◆3年生から、社会科や理科、総合的な学習の時間などの学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ◆3年生で、リコーダーや毛筆、ローマ字など、教科の中でも新しい学習が始まります。
- ◆国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べ学習をすることが多くなります。
- ◆新しい漢字をたくさん習います。3・4年生とも200字程度。
- ◆算数科では、四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を学ぶとともに、3年生から分数や小数などの内容も学ぶようになります。
- ◆4年生では、計算の技能を定着させ、それを活用する能力を伸ばす学習が大切になります。

家庭学習のポイント

Point1 宿題以外の学習にも挑戦! ~すすんで学ぶ習慣を~

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組み、家庭学習のレベルアップを図りましょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。家事を分担し、自分の仕事を進んですることも、大事な学習です。

Point2 テレビやゲームは、時間を決めて! ~自律心を~

テレビやゲームに夢中になって、遊び時間が長くなりがちです。ルールを決めさせることが、自律心や学習への集中力を育てることになります。根負けせずに励まし続けましょう。また、子どもの学習時間には、家族がテレビを消すという姿勢も大切です。

Point3 がんばりを本気でほめる! ~子どもとの会話を大切に~

「勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。



- 学校からの連絡やお便りなどを渡す習慣を。
- 学習前に、学習する場所の整理整頓を。
- 今日の宿題や明日の予定を自分で確かめる習慣を。

※時々、チェック欄に鉛筆でチェックをしながら、できているかを確認しましょう。

□：子ども用 ◇：保護者用

宿題



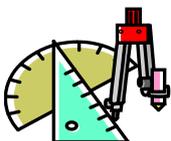
- 宿題が早くできたら、国語や算数の復習など家庭学習をしましょう。
- ◇子どもの宿題の内容や学習の結果を見て、お子さんの学習の様子をときどき確かめましょう。
- ◇お子さんが「わからないから教えて」と言ったときには、できる限り応えてください。

国語科



- 毎日、音読する習慣をつけましょう。
- いろいろな本を選んで読みましょう。
- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるとともに、わからない言葉や漢字を自分で調べる習慣をつけましょう。
- ドリルなどを活用して、漢字を繰り返して書く練習をしましょう。
- ◇家族で読書タイムを決めるのもよいでしょう。

算数科



- かけ算やわり算などの正しい計算技能が身につくよう、毎日続けて練習しましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。

その他



- 読書をしたり、日記を書いたりする習慣をつけましょう。
- リコーダーで習った曲の練習をしましょう。
- なわとびやマラソンで体力づくりをしましょう。
- 「なぜだろう」「どうしてだろう」と思ったことは、辞書や図鑑などを使って、自分で調べたり家族に相談したりしましょう。

ワンポイントアドバイス

- ◇三角定規、コンパス、分度器などの学習用具は、子どもの使いやすさを考えて用意してください。
- ◇社会科や総合的な学習の時間の地域学習、理科の月や星の観察には、進んで協力してください。
- ◇子どもが学習してきたことを、家庭でも実践してみましょう。

わが家では



5・6年生

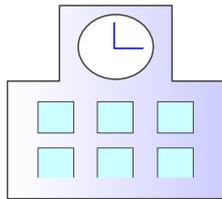


もう一度基本的な生活習慣と学習習慣を見直そう



5・6年では

- 夜更かし、テレビやゲーム漬けでは学習に集中できません。
- 得意な科目や好きな分野が見つかり、勉強好きになるきっかけにもなります。
- 競争心も芽生える時期です。好ましい友人関係の中で、自分を高めていきましょう。



学校で

- ◆委員会活動、縦割り活動などで協調性や責任感が求められます。
- ◆抽象的な言語をたくさん学びます。
- ◆5年生では、分数の通分・約分、異分母分数のたし算・ひき算、小数のかけ算・わり算も学習します。
- ◆6年生では、縮図や拡大図、対称な図形を新たに学習します。
- ◆外国語活動では、簡単な英会話に慣れ親しむ活動が始まります。
- ◆コンピュータ、事典、新聞などを使って、進んで調べる学習がふえます。
- ◆家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学び、裁縫や調理の実習も行います。

家庭学習のポイント

Point1 計画的な学習を～学習時間を決めて～

子どもたちの放課後もだいたい忙しくなります。自分に合った計画を立てながら学習を進めましょう。

Point2 4年生までの学習を見直して～復習も大切に～

例えば、算数科では小数や分数のかけ算とわり算を学びます。これまでの整数の計算や文章題などで計算の意味や仕組みが理解できていると、意欲的に学習に取り組むことができます。国語科の漢字でも、読み書きがしっかり身につけていると、抽象的な熟語の理解も容易になります。

Point3 一つの活動でもよいから続けよう～継続は力～

「計算は得意」「歴史が大好き」「調べ学習は根気よく取り組める」「漢字練習は好き」などのように得意な分野を見つけましょう。小さな自信が必ず大きなものになっていくはずですよ。



- 学習プリント類はきちんと整理を。
- 今日の宿題は何かを確かめる習慣を。
- 机の上、学習用具の整理整頓を。

※時々、チェック欄に鉛筆でチェックをしながら、できているかを確認しましょう。

□：子ども用 ◇：保護者用

宿題



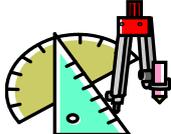
- わからないところは、教科書やノートなどを見ながらあきらめずに取り組みましょう。
- 宿題が早くできたときは、苦手な勉強の復習や、次の日の学習を確かめるような予習をしましょう。

国語科



- 説明文、物語、詩、作文、古典など多くの作品に親しみましょう。
- 語句や漢字の意味は辞書やドリルを使って確認しましょう。
- 教科書の文章量も多くなります。黙読や音読で、あらすじをしっかりとつかみましょう。

算数科



- よく間違える計算は手順や仕組みを確かめながら練習しましょう。
- 間違えた原因を早めに確認する習慣をつけましょう。
- 数、式、図、表などを用いて考えたり、説明したりする学習を心掛けましょう。

社会科



- 地図帳、白地図で国土を確認しながら産業の様子を学習しましょう。
- 歴史上の人物や出来事にふれた本に親しみましょう。
- グラフ、表などを日頃から見るようにしましょう。

その他



- 新聞記事やテレビニュースなどを家族で話題にして、社会に目を向けましょう。
- 家族の一員としての役割をもち、責任をしっかりと果たしましょう。
- 本を読んで感想を書いたり、一日を振り返って日記を書いたりしましょう。

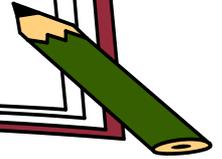
ワンポイントアドバイス

ーパソコン・テレビ・ゲームは約束を守ってー

- ◇パソコン・テレビは家族共有の場所に設置することが大事です。
- ◇時間を決め、内容を把握してください。
- ◇有害サイトから身を守ることにに関して約束をつくってください。

わが家では

読書のすすめ



本はいつでも好きな時に手に取って読むことができ、読むたびに違ったおもしろさを与えてくれます。本の内容を理解することを通して、想像力、語学力がつけます。子どもの豊かな心と可能性を本で育みましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構の調査では、「子ども時代に読書を多くした人ほど、未来志向や社会性の意識が高く、人生を前向きにとらえている」

という結果もでています。また、読書と文化的作法や教養との関係も高く、子どものころの読書経験が、その後の人生によい影響を及ぼしています。ぜひ、本に親しむ機会を増やしてください。

読書は生涯学習の基礎です。子どもが読書に興味を持つためには、家庭で親が本を読む姿を見せることが大切です。テレビやゲームの時間を減らし、家庭で親子が一緒に読書をする時間を持つようにしてはどうでしょう。

